



賞状を手にする河田さん

人権尊重の重要性と必要性について理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けることを目的として法務省と全国人権擁護委員連合会が主催する「第38回全国中学生人権作文コンテスト」が開催され、応募総数933,992点の中、東部中学校2年生の河田怜子さんの作品「みんなが幸せになるために」が中央大会奨励賞と茨城県大会最優秀賞に輝きました。

河田さんは作品の中で、小学生の頃から参加する「点訳サークルぼちぼち」の活動を通して感じたことから「障害があっても、なくても、お互いを尊重し、得意なこと苦手なことを補い合っていけば、みんなが幸せになれるはずだ」と思いをつづっていました。

**みんなが幸せになるために**  
第38回全国中学生人権作文コンテスト入賞 12月8日



入選作品「あらたまの」と菊池さん(左)

「改組新第5回日展」(日展)第2科(洋画)で、菊池一雄さん(下妻戊)が入選に輝きました。日展は、日本画や洋画、彫刻、工芸美術、書の5部門で構成され、会派を越えて一堂に公募する古い歴史を持つ日本最大の公募展です。

市では故錦戸新観さん(彫刻)、故市村緑郎さん(彫刻)、菊池さん(洋画)の3人が入選しています。入選作品の「あらたまの」は「日本人の自然に対する畏敬の念をもった祈り」がテーマとなっており、全国各地に伝わる正月かざり(餅や酒の文化、しめ飾りなど)を通してそのテーマを追求するため、取材が作品制作の鍵となっているそうです。

「同世代からの『私たちの励みになる』との声力が力になっており、まだ私の作品の中に歳神様が降りてこない」と次の作品への意欲を話しました。

**日本最大公募展「日展」5度目の入選**  
改組新第5回日展入選 10月21日



楽しみながら脳を鍛える参加者たち(千代川公民館)

音楽を使った体操やシナプソロジー(ゲームをしながら脳を鍛える)で脳を活性化させ、脳の若返りを図ろうと「音楽とゲームで脳を鍛える体験講座」が千代川公民館で開催され、31人の参加者たちは笑いながら脳の活性化を体感していました。

講師らは「今できなくても、チャレンジすることで脳が活性化されますよ」と話し、参加者たちは歌いながら手足を同時に動かし脳をフル活動させ、会場に笑顔があふれていました。

講座は1月16日に高道祖市民センター、2月20日に騰波ノ江市民センター、3月20日に豊加美市民センターで開催されます。(全会場、開催時間13:30~15:30、定員30人)

**みんなで楽しく脳の活性化**  
音楽とゲームで脳を鍛える体験講座 12月19日



運転手に安全運転を呼び掛けました(本宿交差点で)

年末の交通事故防止県民運動(12月1~15日)の一環として街頭キャンペーンが12月3日、本宿交差点と宗道十字路の2カ所で実施され、下妻警察署や市内交通団体などの関係者約80人が、早朝の通勤ドライバーに「安全運転をお願いします」などと啓発品を手渡ししながら交通事故防止を呼び掛けました。

今回の運動は「飲酒運転みんなで防ごう」をスローガンに、「子どもや高齢者の交通事故防止」「夕暮れ時と夜間の交通事故防止」「飲酒運転の根絶」の三つが重点事項とされています。県民一人一人が、交通ルールを遵守し、交通マナーの向上に取り組みしましょう。

**飲酒運転みんなで防ごう**  
年末の交通事故防止県民運動キャンペーン 12月3日



ツリーに飾り付けをする団員ら

12月16日、河川で安全に自然体験や自然学習を行う目的として活動する青龍楽校少年団は、今年で6回目となる「ものづくり&鬼怒川でクリスマス」を開催しました。

同イベントには、団員23人が参加し、千代川公民館で「ミニ門松作り」と鬼怒フラワーラインで「イルミネーションの飾り付け・点灯式」を行いました。イルミネーションは、子どもたちの掛け声を合図に点灯。最後には、サンタクロースも登場し、一足早いクリスマスプレゼントを届けました。

イルミネーションは1月5日まで点灯し、鬼怒フラワーラインを鮮やかに彩りました。

**鬼怒フラワーラインでイルミネーション**  
ものづくり&鬼怒川でクリスマス 12月16日



プレゼントを届けるサンタクロース

**表敬訪問 全国入賞した高道祖小児童が報告に訪れました**

第6回牛乳ヒーロー&ヒロインコンクール 農林水産大臣賞

かさしま 笠嶋 ことみさん (高道祖小3年)

「1年中、毎日牛乳を飲むように牛の牛季ちゃんのをまわりに春・夏・秋・冬の絵を描きました」

平成30年度 3R促進ポスターコンクール 小学生・低学年の部 優秀賞

はしもと だいすけ 橋本 大輔さん (高道祖小1年)

「色を上手く塗ることができました。ごみを勝手に捨てないでほしいです」

有料広告欄